

第5回東郷地域協議会会議録(要約)

日 時 令和3年8月2日(月)PM7:00～PM9:00

場 所 平井公民館

出席者 委員27名(オンライン参加25名) 事務局3名

次第

- 1 会長あいさつ
- 2 議事
 - (1) 令和4年度地域自治区予算の策定について
 - (2) 地域マネージャー検討会の発足について
- 3 連絡事項
 - (1) 地域の足を考える会のアンケートについて
 - (2) 会議場所検討について

1 会長あいさつ

・お盆月になり何かと忙しい中参加していただきありがたい。頑張りましょう。

2 議事

協議会の会議録署名

- ・定数30人のところ27人の出席があり会議は成立している。
- ・会議録署名について、会長及び署名委員を2名指名し署名をお願いした。

(1) 令和4年度地域自治区予算の策定について

所属している柱以外のことや地域から聞いている意見など、全体として意見を出す時間をとった。また、第4回地域協議会で出た意見について、事務局が担当課等と調整した結果を報告した。

○主な意見

委 員 東郷地域自治区内の団体同士の横のつながりがなかなかないので、他団体と意見交換など交流ができるような場がほしいと地域団体から要望を聞いた。地域協議会から各種団体に呼びかけをして、事例発表や交流会ができる予算取りをしてほしい。例えば、足を考える会とボランティアガイドの会など他の団体がどういう人がどんなことをやっているかが知らないということが多く、協力できる場所があれば協力したいという声を聞いた。

会 長 誰かが音頭を取らないとできない。

委 員 どこかの団体が音頭を取って行うというのは難しいので、地域協議会で音頭をとってやっていただけるとありがたいと意見をもらった。予算は会場費と軽食とお茶代など。

会 長 コロナがどれくらいで収まるかが分からないので、会合を開くのが難しいという問題がある。

- 委員 昨年度東郷西こども園保護者会の会長をやっていた。特にこども園は役員が一年で変わってしまうので難しいところはあるが、子育て中のお母さんで車を持ってない人もいるので、そういう方の意見を拾うという点でも足を考える会との交流を持ったりなど、団体同士横のつながりを作れたらいいと思う。
- 委員 今年度の地域活動交付金の審査の際に、さまざまな歴史団体がいたが、それぞれが個々で言っていることが多かった。横のつながりを持ってトータル的に考えていった方がいい面もあったので、横のつながりを作ることは賛成。
- 委員 横のつながりは必要だと思うが、飲食は税金の使い道としては相応しくない。また、守ろうの柱のところ、あちこちでグリーンベルトが削れて薄くなったという話がある。やるかやらないかは土木課で判断する必要があるが、一度区長に頼んで調査し優先順位を土木課で付けてもらい、自治区予算でできるかどうかを協議会で判断したらどうか。すぐにやるというわけではなく、今後のために資料として入手する必要があるのではないか。また、農道については、認定されているかされていないかによって、もし時間雨量100ミリの豪雨災害があった場合など、認定されていないければ国の災害の補助は受けられない。できれば、今年度の地域自治区予算の建議の際に、農道の認定に関する意見を付けていただきたい。国の補助が取れないと全額市費となるので、市が対応できなく地元にも迷惑がかかる。
- 委員 圃場整備区域内の河川や市道や農道など、圃場整備で作ったものを市の管理者に移管しておかないといけないが、移管されていないことが多々あった。権原が明らかになっていないと国は補助を出さない。市が本来管理すべき所管にももの移っているのかを確認すべき。
- 会長 要するに責任の所在がはっきりしていないということか。
- 委員 農道が農業課ではなく土木課で管理していたり、そもそも本当に農道なのか、それとも市道なのか、がはっきりされていない。河川も改良事業で整備したが河川管理者に移管されていなかったことがあった。本来管理すべきところに所管替えしなければ、災害が起こったときに国は相手にしてくれないので、きちっとしておくべきだと思う。
- 事務局 農道に関しては一度現状を確認させていただきたい。建議の件は次回検討してもらいたい。グリーンベルトの件は、守ろうの柱で深掘りしていただきたい。また、横のつながりを作る件については、新たな事業もいいが、毎年実施している地域活動交付金の成果報告会に他団体も呼んで横のつながりを図るというのはどうか。
- 委員 成果報告会の際に他団体を呼ぶということで、さらに過去に交付金を受けた団体も交えて話し合えば、新たな気づきから新たな活動が生まれるかもしれないので大賛成。
- 委員 要望として挙げたのは、とにかく交流する機会が欲しいということだった。形にとらわれず柔軟な考えで色々な方法を検討してもらいたい。
- 会長 まずは団体のリーダーを集めて交流の場をもつことから始めたらどうか。そういうところから横のつながりが深くなってくる。

地域計画の5つの柱ごとにわかれ、令和4年度地域自治区予算事業計画の検討を行った。グループ討議終了後、各柱のリーダーから議論内容の発表があった。以下発表要旨。

柱1 暮らそう

1-1 地域交通検討事業

- ・豊明市のチョイソコの視察費しか計上されてないので、東郷地区の利便性を高めるために、視察予算を上げてもう少し他の場所にも足を運んでもいいのではないかな。

1-2 高齢者支援活動

- ・新城地区と同じ形として、やりたい人とやってもらう側の組織編成を詰めていくのに時間が足りないので、今年度提案するレベルまで持っていくのは難しい。

1-3 定住促進

- ・今年度提案するレベルまで持っていくのは難しい。

柱2 守ろう

2-2 地域防災連携促進事業

- ・視察費として本当に熱海市が適当であるのか。東郷地区でやりたいことと似ていることをやっている場所に視察に行った方が良いのではないかな。再検討することとなった。

2-3 AED普及推進事業

- ・竹広区の1機のリース期間を他の4機と合わせることとなった。

2-12 足下の安全対策

- ・グリーンベルト老朽化しているので、各区長に調査をかけてランク付けをして土木課に評価してもらいたい。一度に実施すると莫大な費用がかかってしまうので、2~3年かけて整備していけたら。
- ・八東穂の市道に樹木が道路に覆い被さっている。

(主な意見)

委員 樹木の件、土木課に一度お願いに行ったが、私有地だからできないと言われた。

委員 私有地だが道路に覆い被さっていてもダメなのか。

事務局 私有地だと市では切れないので所有者にお願いすることになる。

委員 当該場所については、過去に五反田川カメの会に切ってもらったこともある。

委員 市道であれば建築限界内は道路管理者が通行の安全を確保する責任がある。土地の所有者の承諾さえあれば道路管理者が施行は可能。

委員 道路管理者の管理瑕疵が取られる。私有地だからダメだということは通らない。建築限界4.5mは確保しないとイケない。

事務局 土木課に状況を聞くことにする。

会長 新城市はそのような道路は山ほどあるから、それを全部綺麗にするというのは莫大なお金がかかる。手を付けるのが怖いということ。当然そういった発想となる。

柱3 育てよう

3-5 多世代交流事業

- ・共育コーディネーターに支払う謝礼について、100時間を4人にしたらどうか。個人よりもチームでやった方が、色々な世代にも声が掛けられるし、幅広い企画ができる。
- ・昔の遊びがしたい、DIYがしたい、ドローンがやりたいということを目的とするよりも、多世代が交流できる手段として活用していくというイメージで仕掛けをしていけるような人に共育コーディネーターをお願いできるといい。子供を連れてきた親は親で役割があったりとか、たくさんの人たちが自然と交流できるような仕掛けをしていけるような人をお願いしたい。

(主な意見)

- 委員 共育コーディネーターの時間数の積算根拠はどうなっているか。
- 事務局 実際にこの仕組みを使っている八名の事例から算出した。共育講座を企画したり、講師調整業務や講座周知チラシ作成など。
- 委員 個々の時間数の積み上げを資料として用意していただきたい。
- 会長 専門的な人がいるわけではないのか。
- 委員 そういうわけではない。誰かやってくれる人を探すことになる。
- 会長 10講座と大変多岐に渡っているが一年で可能なのか。
- 委員 東郷学び学校なので、講座ごとに1時間目、2時間目とあり、1日5時間目まであるのを2日間かけて開催するというイメージ。あくまで多世代が交流する講座が10あり、日程配分等の開催内訳を講師及び共育コーディネーターさんに委ねていく。

柱4 学ぼう

4-1 長篠設楽原の戦い事業

- ・会議に出席するための交通費は予算取ったが、報償費はつけるべきかつけないべきか。
- ・検定を受けるための教科書A5サイズ 50 ページくらいのを 300 冊で印刷を考えているので見積もりを取って欲しい。

(主な意見)

- 会長 どういう本を作るのか。
- 委員 検定を受けるための元となる参考書。実行委員会を立ち上げて検討していく。中学生や高校生にも入って欲しい。長篠・設楽原の戦いに特化したものとなる。市の意見もいただきながら検定試験に向かっていきたい。来年度中に教科書が出来上がれば良い。検定試験はその翌年度となる。

柱5 楽しもう

5-3 スポーツバイク普及推進事業

- ・当初予算額に対して今回の積算額が超過している。どんどん予算が拡大していくのはまずいのではないか。パンプトラックは実際に必要なのか。予算に関して楽しもうの柱としてどういう風に対処したら良いのか分からない。

(主な意見)

- 会 長 去年の予算と比べて倍くらいになっているというのが問題となった。実行団体からの要望を積算したわけなのか。
- 委 員 実行団体及びスポーツツーリズム推進課と協議し、今まで出た要望に基づいて予算積算した。ただ、この要望は100%のもの。あくまでもたたき台。
- 会 長 この中から削れるものは削って、節約できるものは節約してほしい。我々は素人なのでパンプトラックがどれだけ必要なのか分からない。また、草刈り機は自走式のリース代を取っているが普通の草刈り機ではいけないのか。年々歳々予算が膨らむような団体は中々難しいので、せめては例年どおりの予算でやってほしいということだった。
- 委 員 パンプトラックがどういうものなのかが分からない。また、倉庫はどのようなものなのかが記載がないので判断ができない。資料として付けて欲しい。
- 事務局 パンプトラックはこのよううねうねするコースみたいなもの(画面共有)。3月のオープン前の体験会の際に借りた時は、子供達がパンプトラックに夢中になりずっと遊んでいた。パークに来る子供達からもパンプトラックはないのによく聞かれる。ただ、樹脂製で特注なので高額。10セット買うと色々な形状のコースが作れる。
- 委 員 設置に関し土地所有者の承諾を得ているのか。
- 事務局 これはそもそも持ち運びが出来るもの。土地使用承諾に関しては取る。
- 委 員 解体したらどこに置いておくのか。
- 事務局 新たに購入する倉庫にしまう予定。土地使用承諾に関しては取る。
- 会 長 スポーツツーリズム推進課が予算取って貸し出すという形に持っていった方がいいのではないか。
- 事務局 備品購入費は全部カットした方がいいのか。
- 会 長 全部とは言わないが節約できるところはしてほしいという意見。
- 事務局 次回までに担当課及び実行委員会と協議し改善案を提示させていただく。

(2) 地域マネージャー検討会の発足について

時間の関係上、次回地域協議会に先延ばしとなった。

3 連絡事項

(1) 地域の足を考える会のアンケートについて

- ・東郷地域の足を考える会の熊谷会長から足を考える会で検討している地域交通に関するアンケートについての説明があり、意見交換を行った。

(2) 会議場所検討について

- ・平井公民館が月曜休館のため、今年度はWi-Fi環境がある大海公民館で開催となった。
- ・コロナが収束して対面で開催する場合は駐車場の関係で平井公民館が適当となる。

【21:00 終了】